

(2) 予察情報—3 月報

4月月報（令和6年5月22日）

1 作物生育概況

(1) 野菜類

果菜類：トマトの生育は重量であった。ナスやエダマメは生育が進み、定植が早まつた。

葉菜類：コマツナの生育は順調だった。

根菜類：ニンジンの生育は一部で遅れたが、サトイモは順調であった。

(2) 果樹

ナシ：東京都農林総合研究センターの果樹圃場（灰色低地土）における主要品種の開花期と平年差（カッコ内）は以下のとおりであった。開花始期および開花盛期は平年値と比べて1~3日早くなかった。

新高：開花始 4月3日（-2日） 開花盛 4月 6日（-3日）

稻城：開花始 4月4日（-2日） 開花盛 4月10日（-2日）

幸水：開花始 4月8日（-3日） 開花盛 4月12日（-2日）

豊水：開花始 4月8日（-1日） 開花盛 4月12日（-1日）

(3) 茶樹

3月の気温が低かったが、4月以降温度が上がり、例年どおりの生育状況になった。

目立った病害虫被害もなくおおむね順調である。

2 病害虫の発生概況

(1) 果樹の病害虫

ナシ

赤星病 <少> 発生は少なかった。

アブラムシ類 <少> 発生は少なかった。

ハマキムシ類 <少> 発生は少なかった。

果樹共通

チャバネアオカメムシ <発生時期：やや早> 発生量：やや多>

(2) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ <やや多> 発生はやや多かった。

(3) 野菜の病害虫

トマト (施設)

モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
灰色かび病	<やや少>	発生はやや少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
コナジラミ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	<やや少>	発生はやや少なかった。

コマツナ (施設)

コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
ヤサイゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ (露地)

白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。

ホウレンソウ

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

イチゴ (施設)

灰色かび病	<やや少>	発生はやや少なかった。
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	<やや少>	発生はやや少なかった。
チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。

ネギ

さび病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	<やや多>	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギコガ	< 少 >	発生は少なかった。

キャベツ

菌核病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。

ア布拉ムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
野菜共通の病害虫		
トビムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

(4) 花きの病害虫（施設）

花き共通の病害虫		
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
コナジラミ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

(5) 島しょの病害虫

島しょ地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 侵入調査

チチュウカイミバエ	<誘殺なし>
ウリミバエ	<誘殺なし>
クインズランドミバエ	<誘殺なし>
ミカンコミバエ種群	<誘殺なし>
トマトキバガ	<誘殺なし>

5月月報（令和6年6月17日）

1 作物生育概況

(1)イネ

6月の田植えに向けて、育苗は順調である。

(2)野菜

果菜類:トマト、ナス、キュウリの生育はおおむね順調で、例年より早まっている。エダマメではカヘムシが目立ち、スイートコーンではアワノメイガの発生が早い。

葉菜類:全般的に生育は順調である。コマツナではアザミウマ被害が目立つ。

イモ類:サトイモ、サツマイモともに順調である。ジャガイモの収穫が始まり、作柄は例年並み。

(3)果樹

農総研の果樹圃場(灰色低地土)におけるカキ主要品種の開花期と平年差(カッコ内)は以下の通り。開花始期及び開花盛期ともに、6~9日早かった。

平核無 :開花始 5月5日(-7日)、開花盛 5月9日(-6日)

東京紅 :開花始 5月9日(-8日)、開花盛 5月13日(-7日)

次郎 :開花始 5月10日(-8日)、開花盛 5月13日(-8日)

松本早生:開花始 5月12日(-9日)、開花盛 5月15日(-9日)

(4)茶樹

3月の気温が低かったが、4月以降温度が上がり、例年どおりの生育状況になった。目立った病害虫被害もなくおおむね順調である。

2 病害虫の発生概況

(1)果樹の病害虫

ナシ

赤星病 < 少 > 発生は少なかった。

黒星病 < 少 > 発生は少なかった。

アブラムシ類 < 並 > 発生は平年並であった。

カヘムシ類 < 多 > 予察灯、フェロモントラップによる誘殺数は、多かつた。

ナシヒメシンクイ < 並 > 発生は平年並みであった。

(2) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< 少 >	発生は少なかった。
チャハマキ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホソガ	< 少 >	発生は少なかった。

(3) 野菜の病害虫

ジャガイモ

疫病	< 少 >	発生は少なかった。
ニジュウヤホシテントウ類	< 少 >	発生は少なかった。
トマト（施設・半促成）		
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
白ぶくれ症	< 並 >	発生は平年並であった。
オンシツコナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバココナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。

キュウリ

褐斑病	< 少 >	発生は少なかった。
うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
べと病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 並 >	発生は平年並だった。

ナス

アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ニジュウヤホシテントウ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ

白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ナモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。
カブラハバチ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< やや多 >	発生はやや多かった。

ホウレンソウ

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
-----	-------	-----------

イチゴ（施設）

灰色かび病	<やや少>	発生はやや少なかった。
ハダニ類	<やや多>	発生はやや多かった。

ネギ

さび病	<やや少>	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	<少>	発生は少なかった。
アザミウマ類	<やや多>	発生はやや多かった。
ネギハモグリバエ	<並>	発生は平年並であった。

キャベツ

菌核病	<少>	発生は少なかった。
黒腐病	<少>	発生は少なかった。
コナガ	<やや少>	発生はやや少なかった。
ヨトウガ	<やや少>	発生はやや少なかった。
モンシロチョウ	<少>	発生は少なかった。
アブラムシ類	<やや少>	発生はやや少なかった。

野菜共通の病害虫

ネキリムシ類	<やや少>	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	<やや少>	発生はやや少なかった。

（4）花きの病害虫

花き共通の病害虫

灰色かび病	<少>	発生は少なかった。
アブラムシ類	<やや少>	発生はやや少なかった。

（5）島しょの病害虫

島しょ地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 侵入調査

チチュウカイミバエ	<誘殺なし>
ウリミバエ	<誘殺なし>
クインズランドミバエ	<誘殺なし>
ミカンコミバエ種群	<誘殺なし>
トマトキバガ	<誘殺なし>

6月月報（令和6年7月12日）

1 作物生育概況

(1) イネ

田植えは6月に終了、生育は平年並みであった。

(2) 野菜

果菜類：エダマメなどで生育や開花が早まった。トマトは裂果が多い傾向。降雨の影響でスイートコーンの倒伏が見られた。

葉根菜類：生育は概ね平年並みで順調であった。

イモ類：ジャガイモの収量は平年並みであった。

(3) 果樹

農総研の果樹圃場(灰色低地土・露地)におけるブドウ主要品種の開花期と平年差(カッコ内)は以下の通り。

巨峰、安芸クイーンおよび高尾で開花始・盛期は平年より5~6日早かった。

巨峰 : 開花始5月21日(-6日), 開花盛5月24日(-6日)

安芸クイーン: 開花始5月21日(-5日), 開花盛5月24日(-5日)

高尾 : 開花始5月20日(-5日), 開花盛5月22日(-6日)

(4) 茶樹

5月の深刈り後の新芽の生長が例年より緩やかであった。病害虫は前年度より抑えられている。

2 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病(苗)	< 少 >	発生は少なかった。
ばか苗病	< 少 >	発生は少なかった。
イネミズゾウムシ	< 少 >	発生はやや多かった。
ツマグロヨコバイ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
セジロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 果樹の病害虫

ナシ

黒星病	< 少 >	発生は少なかった。
黒斑病	< 少 >	発生は少なかった。
赤星病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ナシヒメシンクイ	< 並 >	フェロモントラップへの誘殺数は並であった。
果樹共通		
チャバネアオカムシ	< 多 >	予察灯及びフェロモントラップへの誘殺数は多かった。
クサギカメムシ	<やや多>	予察灯及びフェロモントラップへの誘殺数はやや多かった。

(3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< 並 >	フェロモントラップへの誘殺数は平年並であった。
チャハマキ	< 少 >	フェロモントラップへの誘殺数は少なかった。
ナガチャコガネ	< 少 >	予察灯への誘殺数は少なかった。

(4) 野菜の病害虫

ジャガイモ		
疫病	< 少 >	発生は少なかった。
トマト		
モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
疫病	< 少 >	発生は少なかった。
白ぶくれ症	<やや少>	発生はやや少なかった。
コナジラミ類	<やや少>	発生はやや少なかった。
オオタバコガ	< 少 >	発生は少なかった。
キュウリ		
うどんこ病	<やや少>	発生はやや少なかった。

べと病	< 並 >	発生は平年並であった。
アザミウマ類	<やや少>	発生はやや少なかった。
ナス		
アザミウマ類	<やや多>	発生はやや多かった。
ハダニ類	<やや多>	発生はやや多かった。
コマツナ		
白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	巡回調査での発生は少なく、 フェロモントラップへの誘殺 数は少なかった。
カブラハバチ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
スイートコーン		
アワノメイガ	< 並 >	巡回調査での発生及びフェ ロモントラップへの誘殺数 は平年並であった。
ネギ		
べと病	< 並 >	発生は平年並であった。
さび病	<やや少>	発生はやや少なかった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	<やや少>	発生はやや少なかった。
キャベツ		
菌核病	< 並 >	発生は平年並であった。
黒腐病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	巡回調査での発生は少なく、 フェロモントラップへの誘殺 数は少なかった。
ヨトウガ	< 少 >	発生は少なかった。

(5) 花きの病害虫

花き共通の病害虫

灰色かび病 < 少 > 発生は少なかった。

(6) 島しょの病害虫

八丈島のフェニックス・ロベレニー(ネットハウス内)で、炭疽病の発生が多かった。

小笠原のレモンで、サビダニ類の発生が多かった。

3 侵入調査

チチュウカイミバエ	<誘殺なし>
ウリミバエ	<誘殺なし>
クインズランドミバエ	<誘殺なし>
ミカンコミバエ種群	<誘殺なし>
トマトキバガ	<誘殺なし>

7月月報（令和6年8月21日）

1 作物生育概況

(1) イネ

生育は概ね順調であった。

(2) 野菜類

果菜類：高温と強い日射の影響で、トマトで日焼け果、着色不良、裂果の発生が見られた。

スイートコーンは風雨による倒伏が見られた。

葉根菜類：キャベツ、ブロッコリー等の播種が始まり、苗は徒長気味であった。ニンジンは発芽不良が見られる。

イモ類：サツマイモの生育は概ね順調であった。

(3) 果樹

農林総合研究センターの果樹圃場(灰色低地土)におけるナシ主要品種の生育状況は以下のとおりであった。

幸水：定期的な降雨により、順調に肥大が進んでいる。

(4) 茶樹

ごく一部の圃場で炭疽病が発生したが、おおむね生育は良好であった。全体的に大きな病害虫被害はない。

2 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病（平野部）	< 少 >	発生は少なかった。
いもち病（山間部）	< 少 >	発生は少なかった。
紋枯病	< 少 >	発生は少なかった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< 少 >	発生は少なかった。
コブノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< やや多 >	発生はやや多かった。
セジロウンカ	< やや多 >	発生はやや多かった。
斑点米カメムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。

(2) 果樹の病害虫

ナシ

黒星病	< 少 >	発生は少なかった。
黒斑病	< 少 >	発生は少なかった。
赤星病	<やや少>	発生はやや少なかった。
ハダニ類	<やや少>	発生はやや少なかった。

果樹共通

チャバネアオカムシ	< 多 >	フェロモントラップ及び予察灯における誘殺数は多かった。
クサギカムシ	< 多 >	予察灯の誘殺数は多かった。

(3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< 並 >	発生はフェロモントラップにおける誘殺数は平年並であった。
チャハマキ	<やや少>	発生はフェロモントラップにおける誘殺数はやや少なかった。
チャノホソガ	<やや少>	発生はフェロモントラップにおける誘殺数はやや少なかった。
ナガチャコガネ	< 少 >	予察灯の誘殺数は少なかった。

(4) 野菜の病害虫

トマト

モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
白ぶくれ症	<やや少>	発生はやや少なかった。
コナジラミ類	<やや少>	発生はやや少なかった。
タバコガ類	< 並 >	発生は平年並であった。

キュウリ

うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
べと病	< 並 >	発生は平年並であった。

ナス

うどんこ病	<やや少>	発生はやや少なかった。
ハダニ類	<並>	発生は平年並であった。
アブラムシ類	<少>	発生は少なかった。
アザミウマ類	<並>	発生は平年並であった。
ニジュウヤホシテントウ	<少>	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	<やや少>	発生はやや少なかった。

コマツナ

白さび病	<少>	発生は少なかった。
炭疽病	<少>	発生は少なかった。
コナガ	<やや少>	発生はやや少なかった。
キスジノミハムシ	<並>	発生は平年並であった。

ネギ

黒斑病	<やや多>	発生はやや多かった。
ネギアザミウマ	<多>	発生は多かった。
ネギハモグリバエ	<少>	発生は少なかった。

(5) 花きの病害虫

シクラメン

ホコリダニ類	<少>	発生は少なかった。
アザミウマ類	<少>	発生は少なかった。

花き共通の病害虫

灰色かび病	<少>	発生は少なかった。
アブラムシ類	<少>	発生は少なかった。
ハダニ類	<少>	発生は少なかった。

(6) 島しょの病害虫

島しょ地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 侵入調査

チチュウカイミバエ	<誘殺なし>
ウリミバエ	<誘殺なし>
クインズランドミバエ	<誘殺なし>
ミカンコミバエ種群	<誘殺なし>
トマトキバガ	<誘殺なし>

8月月報（令和6年9月19日）

1 作物生育概況

(1) イネ

例年よりも生育が早まり、収穫も早まる見込みである。一部で内穎褐変病が目立っている。

(2) 野菜類

果菜類：ナスは生育が概ね例年通りであるが、「つやなし果」「ぼけなす」の発生が多かった。エダマメでは高温障害とみられる不稔莢等の発生が目立った。

葉菜類：キャベツでは高温による苗の生育不良、活着不良がみられた。コマツナも高温による発芽不良がみられた。

根菜類：ニンジン、ダイコンは一部の地域で集中豪雨の影響で発芽不良や生育不良が発生した。

イモ類：サトイモの生育は概ね順調であった。

(3) 果樹

農林総合研究センター果樹圃場（灰色低地土）における主要品種の収穫期と平年差（カッコ内）は以下のとおり。

ブドウ：‘高尾’で収穫始めは平年通りとなった。

‘高尾’ 収穫始 8月 22 日（± 0 日）

ナシ：収穫始めは、‘幸水’、‘稲城’、‘秀玉’で 0～3 日遅くなった。

‘幸水’ 収穫始 8月 14 日（± 0 日）

‘稲城’ 収穫始 8月 27 日（+ 3 日）

‘秀玉’ 収穫始 8月 27 日（+ 1 日）

(4) 茶樹

今年は雨が多く、温度も高いため雑草管理が大変だった。生育は例年どおり。

2 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病	<やや少>	発生はやや少なかった。
紋枯病	<やや少>	発生はやや少なかった。
ニカメイガ	<少>	発生は少なかった。
イネツトムシ	<少>	発生は少なかった。

ツマグロヨコバイ	<やや少>	発生はやや少なかった。
ヒメトビウンカ	<やや多>	発生はやや多かった。
セジロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
トビイロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
イネミズゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
斑点米カメムシ類	<やや少>	発生はやや少なかった。

(2) 果樹の病害虫

ナシ		
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニセナシサビダニ	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	<やや少>	発生はやや少なかった。
果樹共通		
カメムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。

(3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	<やや多>	発生はやや多かった。
チャノコカクモンハマキ	< 少 >	発生は少なかった。
チャハマキ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホソガ	< 少 >	発生は少なかった。

(4) 野菜の病害虫

キュウリ		
べと病	< 少 >	発生は少なかった。
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
ナス		
うどんこ病	<やや少>	発生はやや少なかった。
アザミウマ類	<やや多>	発生はやや多かった。
ハダニ類	< 多 >	発生は多かった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニジュウヤホシテントウ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	<やや多>	発生はやや多かった。
コマツナ		
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
キスジノミハムシ	< 少 >	発生は少なかった。

アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ネギ		
黒斑病	<やや多>	発生はやや多かった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	<やや多>	発生はやや多かった。
サツマイモ		
イモキバガ	< 少 >	発生は少なかった。
ナカジロシタバ	< 少 >	発生は少なかった。
サトイモ		
ワタアブラムシ	< 並 >	発生は平年並であった。
ハスモンヨトウ	< 少 >	発生は少なかった。
セスジズズメ	< 少 >	発生は少なかった。
野菜共通の病害虫		
ハモグリバエ類	<やや多>	発生はやや多かった。
アブラムシ類	<やや少>	発生はやや少なかった。
ハスモンヨトウ	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< 並 >	発生は平年並であった。
カブラヤガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハイマダラノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
カメムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

(5) 花きの病害虫

シクラメン		
チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。

(6) 島しょの病害虫

八丈島：一部のロベネットハウスにてバッタの発生が多かった。

小笠原：レモンでサビダニ類の発生がやや多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 侵入調査

チチュウカイミバエ	<誘殺なし>
ウリミバエ	<誘殺なし>
クインズランドミバエ	<誘殺なし>
ミカンコミバエ種群	<誘殺なし>
トマトキバガ	<誘殺なし>

9月月報（令和6年10月21日）

2 作物生育概況

(1) イネ

20日ごろから収穫が始まり、作柄は平年並であった。

(2) 野菜

果菜類：生育はおおむね平年並であるが、トマトの一部に高温障害、イチゴに花芽分化の遅れが見られた。

葉菜類：生育はおおむね順調であったが、一部で豪雨の影響により病害が発生した。

根菜類：豪雨の影響で一部に発芽不良、流亡等が発生したが、生育はおおむね順調であった。

イモ類：生育は順調で、収量は平年並であった。

(3) 果樹

農林総合研究センター果樹圃場（灰色低地土）における主要品種の収穫期と平年差（カッコ内）は以下のとおり。

ブドウ：‘巨峰’の収穫終わりは6日遅かった。

‘巨峰’ 収穫終 9月26日 (+6日)

ナシ：収穫終わりは、‘幸水’で1日、‘豊水’と‘稻城’で2日早かった。

‘幸水’ 収穫終 8月30日 (-1日)

‘豊水’ 収穫終 9月13日 (-2日)

‘稻城’ 収穫終 9月 6日 (-2日)

(4) 茶樹

生育はおおむね例年どおりだが、暑さのせいか新芽の出芽が脇から多くなっており例年と異なる。

3 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病	<やや少>	発生はやや少なかった。
紋枯病	<やや少>	発生はやや少なかった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< 少 >	発生は少なかった。

ツマグロヨコバイ	< 並 >	発生は平年並であった。
セジロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
トビイロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
コブノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
斑点米カメムシ類	<やや少>	発生はやや少なかった。

(2) 果樹の病害虫

ナシ

黒星病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
ナシヒメシンクイ	< 並 >	発生は平年並であった。

果樹共通

カメムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。
-------	-------	-------------

(3) 茶樹の病害虫

炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャハマキ	<やや少>	発生はやや少なかった。
カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。

(4) 野菜の病害虫

トマト

黄化葉巻病	< 並 >	発生は平年並であった。
モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
コナジラミ類	< 並 >	発生は平年並であった。

キュウリ（施設）

うどんこ病	<やや少>	発生はやや少なかった。
褐斑病	< 少 >	発生は少なかった。
べと病	< 少 >	発生は少なかった。
ハスモンヨトウ	< 少 >	発生は少なかった。
トマトハモグリバエ	< 多 >	発生は多かった。

ナス

うどんこ病	<やや少>	発生はやや少なかった。
アザミウマ類	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	< 多 >	発生は多かった。
キャベツ		
黒腐病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヨトウムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
タバコガ類	<やや少>	発生はやや少なかった。
ネギアザミウマ	<やや少>	発生はやや少なかった。
コマツナ		
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	<やや少>	発生はやや少なかった。
ダイコン		
軟腐病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラナ科野菜共通		
キスジノミハムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ヨトウムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハイマダラノメイガ	< 並 >	発生は平年並であった。
ホウレンソウ		
べと病	< 少 >	発生は少なかった。
シロオビノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギ		
黒斑病	<やや多>	発生はやや多かった。
さび病	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< 並 >	発生は平年並であった。
ヨトウムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニンジン		
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
キアゲハ	< 少 >	発生は少なかった。
サツマイモ		
イモキバガ	< 少 >	発生は少なかった。
ナカジロシタバ	< 少 >	発生は少なかった。
ハスモンヨトウ	< 少 >	発生は少なかった。
野菜共通の病害虫		

ハモグリバエ類	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	<やや少>	発生はやや少なかった。
ハスモンヨトウ	< 並 >	発生は平年並であった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 並 >	発生は平年並であった。
ネキリムシ類	<やや少>	発生はやや少なかった。

(5) 花きの病害虫

シクラメン

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

(6) 島しょの病害虫

小笠原：父島のレモンでハモグリガ類とサビダニ類の発生がやや多かった。
その他の地域では多発の病害虫は認められなかった、

4 侵入調査

ウリミバエ	<誘殺なし>
クインズランドミバエ	<誘殺なし>
チチュウカイミバエ	<誘殺なし>
ミカンコミバエ種群	<誘殺なし>
トマトキバガ	<誘殺あり> *10月11日付特殊報第1号発表

10月月報（令和6年11月20日）

1 作物生育概況

(1) イネ

収穫は例年より早く、収量は例年並みであった。

(2) 野菜

果菜類：抑制栽培トマトの一部で着果不良がみられたものの、おおむね順調に生育した。ナス、ピーマンは収穫終盤となった。

葉菜類：コマツナ、ホウレンソウの生育は順調であった。キャベツの結球やブロッコリーの花蕾形成は例年より遅れた。

根菜類：ダイコン、ニンジンの地上部はおおむね順調に生育したが、根部の肥大は遅れた。

いも類：サトイモ、サツマイモの生育は順調で、収穫が始まった。ジャガイモの一部で疫病が発生した。

(3) 果樹

農総研果樹圃場（灰色低地土）における主要品種の収穫期と平年差（カッコ内）は以下のとおりであった。

カキ：収穫始めは、平年と比べ‘早秋’で8日、「伊豆」で13日、「甘秋’で3日遅く、‘太秋’は3日早かった。

収穫終わりは、平年と比べ‘早秋’で4日、「伊豆’で8日、「甘秋’で7日遅く、‘太秋’は6日早かった。

‘早秋’	収穫始	10月10日 (+ 8日)	収穫終	10月17日 (+ 4日)
‘太秋’	収穫始	10月10日 (- 3日)	収穫終	10月25日 (- 6日)
‘伊豆’	収穫始	10月23日 (+13日)	収穫終	11月1日 (+ 8日)
‘甘秋’	収穫始	10月17日 (+ 3日)	収穫終	11月5日 (+ 7日)

2 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト（施設・促成長期どり）

葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
すすかび病	< 並 >	発生は平年並であった。
コナジラミ類	< やや多 >	発生はやや多かった。

ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
タバコガ類	< 並 >	発生は平年並であった。
キュウリ（施設）		
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
べと病	<やや少>	発生はやや少なかった。
ハモグリバエ類	< 並 >	発生は平年並であった。
キャベツ・カリフラワー・ブロッコリー		
黒腐病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< 並 >	発生は平年並であった。
ヨトウガ類	< 並 >	発生は平年並であった。
アオムシ	<やや少>	発生はやや少なかった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
コマツナ		
白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
ダイコン・ハクサイ		
軟腐病	< 少 >	発生は少なかった。
モザイク病	< 並 >	発生は平年並であった。
ヤサイゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ハイマダラノメイガ	<やや少>	発生はやや少なかった。
アブラナ科野菜共通		
キスジノミハムシ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ホウレンソウ		
べと病	< 少 >	発生は少なかった。
シロオビノメイガ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギ		
黒斑病	<やや多>	発生はやや多かった。
さび病	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	<やや多>	発生はやや多かった。
ネギハモグリバエ	< 並 >	発生は平年並であった。
イチゴ		
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。

ハダニ	< 並 >	発生は平年並であった。
野菜共通の病害虫		
ハスモンヨトウ	<やや少>	発生はやや少なかった。
オオタバコガ	< 並 >	発生は平年並であった。
ヤサイゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 花きの病害虫

シクラメン		
ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
花き共通		
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。

(3) 島しょの病害虫

八丈島：ルスカスこうじかび病の発生がやや多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 侵入調査

ウリミバエ	<誘殺なし>
クインズランドミバエ	<誘殺なし>
チチュウカイミバエ	<誘殺なし>
ミカンコミバエ種群	<誘殺なし>
トマトキバガ	<誘殺あり>

11月月報（令和6年12月24日）

1 作物生育概況

(1) 野菜

果菜類：施設トマト、イチゴの生育は概ね順調であった。

葉菜類：コマツナ、ホウレンソウの生育は順調で、例年より出荷が早まった。

根菜類：ダイコン、ニンジンは生育がやや遅れ、例年より肥大が劣る傾向であった。

いも類：サトイモ、サツマイモの生育は概ね順調であった。

2 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト（施設・抑制）

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
すすかび病	< 並 >	発生は平年並であった。
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
疫病	< 少 >	発生は少なかった。
コナジラミ類	< 並 >	発生は平年並であった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< 少 >	発生は少なかった。

キャベツ・ブロッコリー・カリフラワー

黒腐病	< 少 >	発生は少なかった。
軟腐病	< 少 >	発生は少なかった。
菌核病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ヨトウガ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ

白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ダイコン・ハクサイ

軟腐病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。

ア布拉ムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
カブラハバチ	< 少 >	発生は少なかった。
ホウレンソウ		
ベと病	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
シロオビノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
コナダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
ネギ		
黒斑病	< 並 >	発生は平年並であった。
さび病	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ネギハモグリバエ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ネギアブラムシ	< 少 >	発生は少なかった。
イチゴ		
うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 花きの病害虫

シクラメン		
ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
花き共通		
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。

(3) 島しょの病害虫

八丈島：ルスカスで葉先枯病の発生がやや多かった。
 その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 侵入調査

ウリミバエ	<誘殺なし>
クインズランドミバエ	<誘殺なし>
チチュウカイミバエ	<誘殺なし>
ミカンコミバエ種群	<誘殺なし>
トマトキバガ	<誘殺あり>

12月月報（令和7年1月20日）

1 作物生育概況

(1) 野菜

果菜類：施設栽培トマトの生育はおおむね順調であった。イチゴの初収穫は例年より遅くなった。

葉菜類：ホウレンソウ、コマツナの生育はおおむね順調であった。キャベツ、ハクサイは結球が遅れ、ブロッコリーは花蕾肥大がやや遅れた。

根菜類：ダイコン、ニンジンの生育はおおむね順調であった。

2 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト（施設・促成）

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
疫病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
すすかび病	< 並 >	発生は平年並であった。
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
黄化葉巻病	< 並 >	発生は平年並であった。
コナジラミ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
コマツナ		
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
ホウレンソウ		
ホウレンソウケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
イチゴ（施設）		
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
野菜共通の病害虫		
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
ヤサイゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 花きの病害虫

シクラメン

ホコリダニ類 < 少 > 発生は少なかった。

花き共通の病害虫

灰色かび病 < 少 > 発生は少なかった。

アブラムシ類 < 少 > 発生は少なかった。

(3) 島しょの病害虫

島しょ地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 侵入調査

トマトキバガ <誘殺あり>

1月月報（令和7年2月14日）

1 作物生育概況

(1) 野菜類

果菜類：施設トマト、イチゴは生育や初収穫が遅れた。

葉菜類：ホウレンソウ、施設コマツナの生育はおおむね順調であった。

根菜類：ダイコン、ニンジンの生育はおおむね順調であった。

2 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト（施設）

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
すすかび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
黄化葉巻病	< 並 >	発生は平年並であった。
コナジラミ類	< 並 >	発生は平年並であった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ（施設）

コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

ホウレンソウ

ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

イチゴ（施設）

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 花きの病害虫

花き共通の病害虫

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

(3) 島しょの病害虫

島しょ地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 侵入調査

トマトキバガ

<誘殺なし>

2月月報（令和7年3月18日）

1 作物生育概況

(1) 野菜類

果菜類：施設トマト・イチゴの生育はおおむね順調だった。

葉菜類：乾燥により一部で生育が遅れる傾向にあったが、コマツナ、ホウレンソウはおおむね順調だった。ブロッコリーの一部圃場で菌核病の発生が目立った。

根菜類：ニンジン、ダイコンの生育はおおむね順調だった。

2 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト（施設）

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は平年並だった。
すすかび病	< 少 >	発生は平年並であった。
うどんこ病	< 少 >	発生は平年並であった。
黄化葉巻病	< 並 >	発生は平年並であった。
コナジラミ類	< 並 >	発生は平年並であった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ（施設）

ア布拉ムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ホウレンソウ（施設、露地トンネル）

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
ハクサイダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

イチゴ（施設）

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 花きの病害虫（施設）

花き共通の病害虫

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
-------	-------	-------------

アブラムシ類

< 少 > 発生は少なかった。

(3) 島しょの病害虫

島しょ地域では多発の病害虫は認められなかった。

3 侵入調査

トマトキバガ

<誘殺なし>

3月月報（令和7年4月16日）

1 作物生育概況

(1) 野菜類

果菜類：苗類の生育は概ね順調であった。寒暖の影響で一部に寒害や葉焼けが生じた。

葉菜類：コマツナ、ホウレンソウの生育は概ね順調で、やや早まった。ノラボウナの生育はやや遅れた。

根菜類：生育は概ね順調であった。

2 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト（施設・促成長期どり）

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
コナジラミ類	< 並 >	発生は平年並みだった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ（施設）

コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 並 >	発生は平年並みだった。

ホウレンソウ（施設、露地トンネル）

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

ネギ

ネギアブラムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< やや多 >	発生はやや多かった。

イチゴ（施設）

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 並 >	発生は平年並みだった。
アザミウマ類	< 並 >	発生は平年並みだった。

(3) 島しょの病害虫

特に多発の病害虫は認められなかった。

3 侵入調査

トマトキバガ < 誘殺なし >